



Tアンケート

報道関係各位

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

『新成人に関するアンケート調査』 20歳・40歳・60歳のT会員に聞きました!

成人式の出席率は上昇傾向!?

2014年の新成人は81.6%が出席予定!

理由は「友達に会えるから」がトップ(40.3%)

～ハタチの“悩み”、“なりたい職業”、“異性への条件”でも世代間に差が!～

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社は、Tカードを利用している20歳・40歳・60歳(2013年度年齢)の男女619名のT会員を対象に、インターネット上での意識調査「Tアンケート」によって、『新成人に関するアンケート調査』を実施しましたので、お知らせいたします。

■新成人に関するアンケート調査結果ダイジェスト

●成人式への出席率は?

今年の20歳は81.6%が出席予定! 理由は「友達に会えるから」(40.3%)

20歳のとき、成人式に出席した40歳は60.7%、60歳は48.8%

●いまの20歳、20年前の20歳、40年前の20歳の悩みとは?

20歳の1位は「今後の未来」「お金」、40歳・60歳は「仕事・就職」

●いまの20歳、20年前の20歳、40年前の20歳のなりたい職業は?

20歳は、「医療」(9.2%)

40歳は、「教育・保育」(8.7%)

60歳は、「教育・保育」「事務」(6.8%)

●いまの20歳、20年前の20歳、40年前の20歳の求める異性の条件は?

20歳の上位は、「価値観が合う」「やさしい」「趣味が合う」と内面重視に

40歳・60歳は、「顔」「体型・スタイル」が上位にランクインし外見も重視

■プレスリリースに関するお問い合わせ:

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 広報担当:安藤 TEL:03-6800-4464

■Tアンケートに関するお問い合わせ:

営業担当:小堀・吉田・永山 MAIL:dbwatch@ccc.co.jp TEL:03-6800-4561



Tアンケート

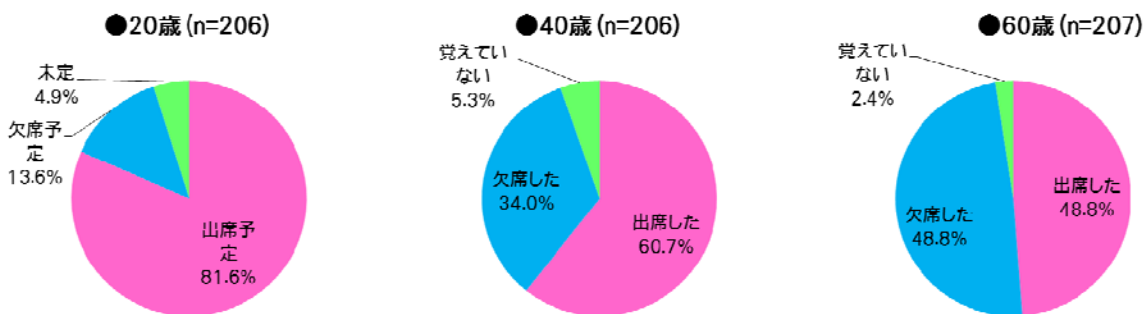
<新成人に関するアンケート:調査結果(1)>

Q:<20歳>成人式に出席しますか?

<40歳・60歳>20歳のときに成人式に出席しましたか?

※回答方法:単一回答、n=619

2014年1月13日は「成人の日」ですが、2013年12月31日に総務省統計局が発表をした人口推計によると、2014年の新成人人口は121万人と過去最低を更新したとのこと。少子高齢化により若者の数が減少傾向にある現在、2014年に成人を迎えるT会員の皆さんがいま何を考えているのか、そして20年前に成人を迎えた40歳のT会員の皆さん、40年前に成人を迎えた60歳のT会員の皆さんに、それぞれ20歳のときに何を考えていたのかをはかる「成人に関するアンケート」調査を実施いたしました。いまから65年前の1949年に制定された「成人の日」を機に、全国各地で開催されるようになった成人式。各世代に成人式への出席状況を聞いてみたところ、今年20歳の人の出席予定率は81.6%と非常に高く、その出席理由については、「友達に会えるから」(40.3%)が1位となり、昨今の人と人との繋がりや絆を大切に思う傾向の高まりも影響してか、自身が生まれ育った地域の友達との関係を大事にしていることが伺える結果となりました。一方、現在の40歳の方が20歳のときの成人式出席率は60.7%、また60歳では半数以下の48.8%という結果となり、2000年のハッピーマンデー制度導入によって成人式が月曜日の祝日で連休になったことが出席率向上へ寄与している可能性が高いことが見てとれます。



●20歳の理由 (n=206)

出席予定 (友達に会えるから)	出席予定 (みんな出席するから)	出席予定 (地域の祭事だから)	出席予定 (親に言われたから)	出席予定 (その他)	欠席予定 (忙しいから)	欠席予定 (面倒だから)	欠席予定 (興味が無いから)	欠席予定 (同級生と会いたくないから)	未定
40.3%	23.8%	11.2%	2.9%	3.4%	3.9%	3.9%	2.9%	2.9%	4.9%

●40歳の理由 (n=206)

出席した (友達に会えるから)	出席した (みんな出席するから)	出席した (地域の祭事だから)	出席した (親に言われたから)	出席した (その他)	欠席した (忙しいから)	欠席した (面倒だから)	欠席した (興味が無いから)	欠席した (同級生と会いたくないから)	欠席した (地域の祭事が嫌いだから)	欠席した (その他)	覚えていない
26.2%	21.8%	8.3%	1.5%	2.9%	9.7%	6.3%	6.3%	1.9%	0.5%	9.2%	5.3%

●60歳の理由 (n=207)

出席した (みんな出席するから)	出席した (友達に会えるから)	出席した (地域の祭事だから)	出席した (親に言われたから)	出席した (その他)	欠席した (面倒だから)	欠席した (興味が無いから)	欠席した (忙しいから)	欠席した (同級生と会いたくないから)	欠席した (成人式が開催されないから)	欠席した (その他)	覚えていない
26.1%	14.0%	4.3%	1.0%	3.4%	12.6%	11.6%	9.2%	1.4%	0.5%	13.5%	2.4%

Tアンケート

<新成人に関するアンケート:調査結果(2)>

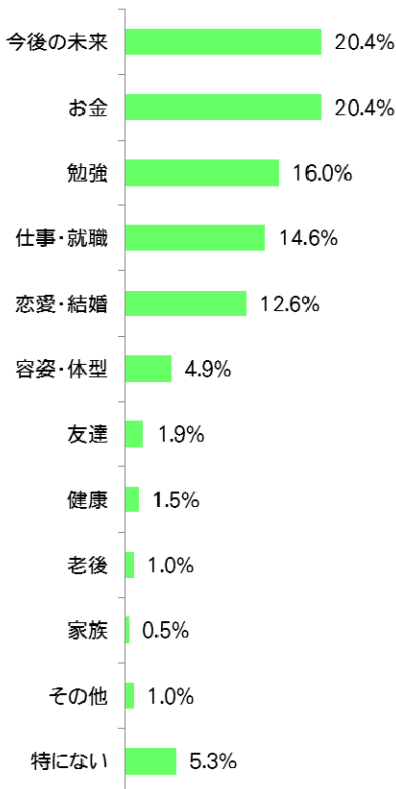
Q:<20歳>いま、最も悩んでいることは何ですか?

<40歳・60歳>20歳のときに最も悩んでいたことは何ですか?

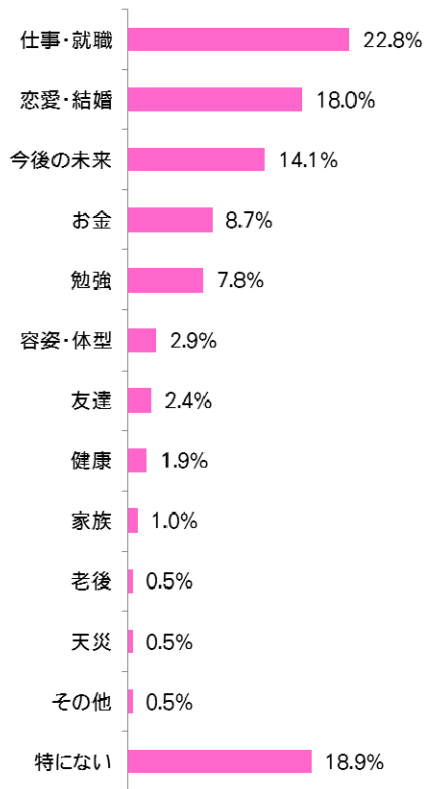
※回答方法:単一回答、n=619

続いて、いまの20歳、20年前の20歳、40年前の20歳の若者がどのような悩みを抱えている、もしくは抱えていたのかを聞いたところ、現在の20歳では1位に「今後の未来」「お金」(20.4%)、3位に「勉強」(16.0%)が選ばれ、いまの若者は日本経済の停滞によって社会の格差が広がる中、“未来”や“お金”が悩みの中心と挙げられる、とても厳しい環境が伺える結果となりました。一方、40歳と60歳の人々が20歳のときに悩んでいたことは、20歳になると“就職”“結婚”が人生のキーワードとして位置づけられる時代背景も関係し、1位はともに「仕事・就職」(40歳は22.8%、60歳は26.1%)、また2位も同じく「恋愛・結婚」(40歳は18.0%、60歳は19.8%)、3位も同じく「今後の未来」(40歳は14.1%、60歳は10.6%)が選ばれました。

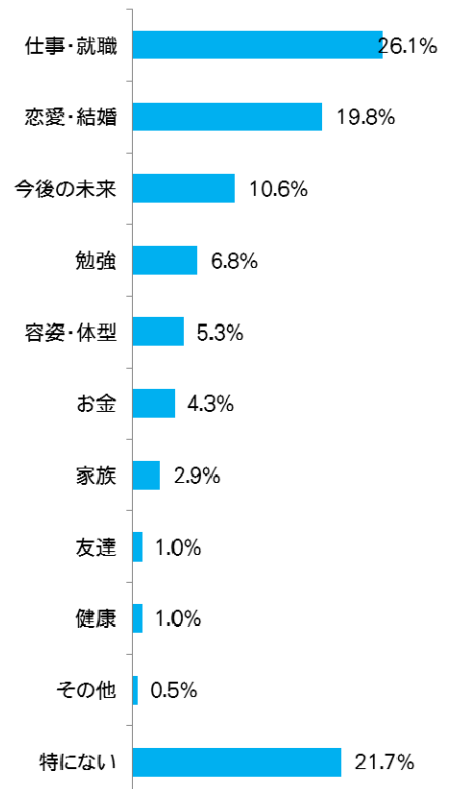
●20歳(n=206)



●40歳(n=206)



●60歳(n=207)



Tアンケート

<新成人に関するアンケート:調査結果(3)>

Q:<20歳>将来どのような職業につきたいですか?

<40・60歳>20歳のときにどのような職業につきたいと思っていましたか?

※回答方法:単一回答、n=619

日本で「雇用機会均等法」が施行されてから42年が経過しましたが、アベノミクスでの成長戦略に女性の社会進出が掲げられるほどに雇用問題については多くの課題を抱えている現代です。このような日本において、現在、20年前、40年前の20歳の若者のなりたい職業を聞いたところ、現在の20歳では、上から順に「医療」(9.2%)、「教育・保育」(6.3%)、「コンピューター」「金融・会計」「事務」(4.4%)が選ばれました。また40歳では「教育・保育」(8.7%)、「事務」(6.3%)、「医療」「スポーツ」「コンピューター」「法律」(2.9%)、60歳では「教育・保育」「事務」(6.8%)、「医療」「運輸・乗り物」(4.3%)、「広告・デザイン」「コンピューター」(2.9%)となり、職業については現在の20歳の1割弱が「医療」の仕事につきたいと考えている人が増えていることに特徴が出ていますが、全体的に偏りは見られない結果となりました。なお、40歳・60歳の人の中には20歳の時点で「既に就職をしていた」と回答をしている人も見受けられました。

●20歳(n=206)

医療	9.2%
教育・保育	6.3%
コンピューター	4.4%
金融・会計	4.4%
事務	4.4%
運輸・乗り物	3.4%
心理・福祉・リハビリ	2.9%
飲食	2.4%
マンガ・アニメ・ゲーム	2.4%
広告・デザイン	2.4%
旅行・ホテル	1.9%
自然・動物	1.9%
テレビ・映画	1.9%
音楽・ラジオ	1.9%
芸能	1.5%
法律	1.5%
建築・インテリア	1.5%
美容・ファッション	1.0%
出版・報道	1.0%
国際	1.0%
スポーツ	0.5%
保安	0.5%
その他	8.7%
まだ決めていない	33.0%

●40歳(n=206)

教育・保育	8.7%
事務	6.3%
医療	2.9%
スポーツ	2.9%
コンピューター	2.9%
法律	2.9%
マンガ・アニメ・ゲーム	2.4%
建築・インテリア	2.4%
旅行・ホテル	1.9%
運輸・乗り物	1.9%
出版・報道	1.9%
金融・会計	1.9%
心理・福祉・リハビリ	1.5%
美容・ファッション	1.5%
テレビ・映画	1.5%
広告・デザイン	1.5%
保安	1.5%
飲食	1.0%
自然・動物	1.0%
音楽・ラジオ	1.0%
芸能	1.0%
国際	1.0%
その他	8.3%
覚えていない	40.3%

●60歳(n=207)

教育・保育	6.8%
事務	6.8%
医療	4.3%
運輸・乗り物	4.3%
広告・デザイン	2.9%
コンピューター	2.9%
飲食	2.4%
出版・報道	2.4%
スポーツ	2.4%
旅行・ホテル	1.9%
芸能	1.9%
金融・会計	1.9%
テレビ・映画	1.4%
音楽・ラジオ	1.4%
法律	1.4%
国際	1.4%
建築・インテリア	1.4%
美容・ファッション	1.0%
葬祭・宗教	1.0%
心理・福祉・リハビリ	0.5%
マンガ・アニメ・ゲーム	0.5%
その他	10.6%
覚えていない	38.2%



Tアンケート

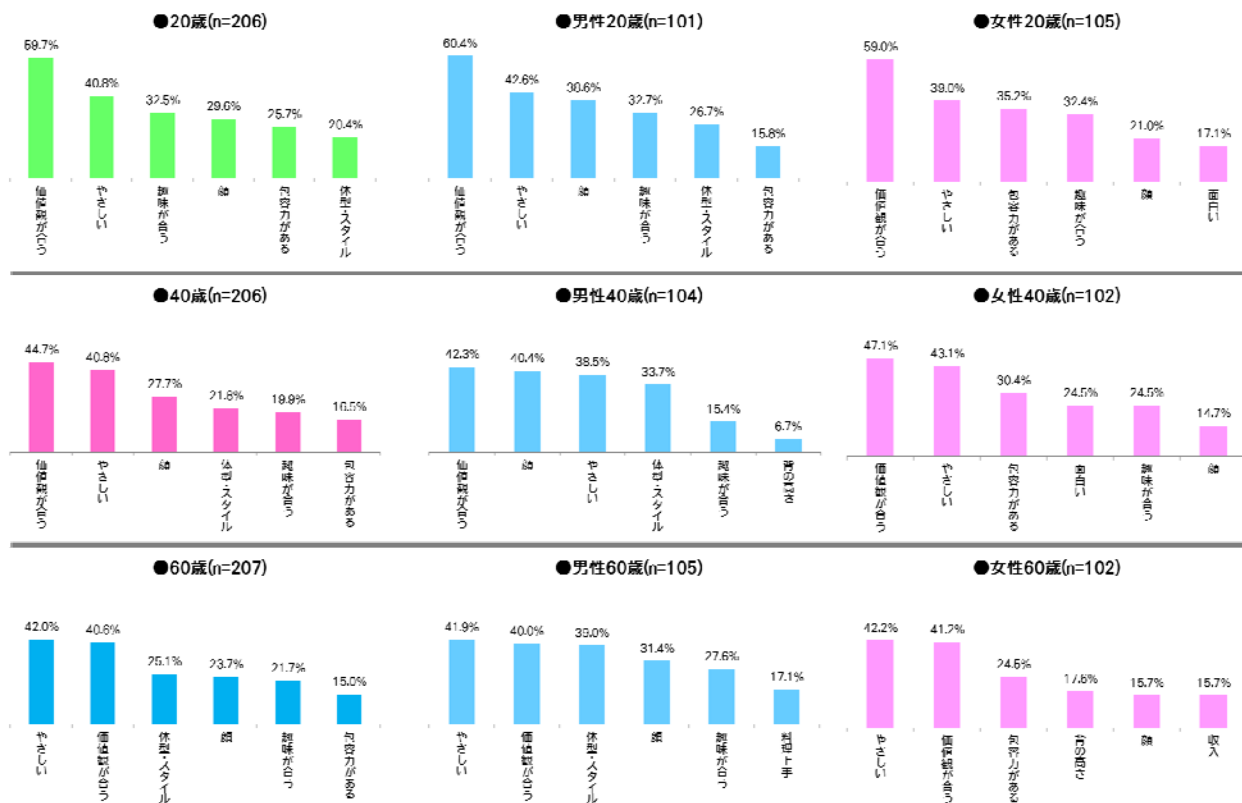
<新成人に関するアンケート:調査結果(4)>

Q:<20歳>異性に求める条件は何ですか。最大3つまでお選びください。
 <40・60歳>20歳のときに異性に求めた条件は何でしたか。
 最大3つまでお選びください。

※回答方法:複数回答、n=619

少子高齢化の裏腹として晩婚化や晩産化が進行し、女性が男性に求める条件が「3高」(高学歴・高収入・高身長)から、「3平」(平均的年収・平凡な外見・平穏な性格)へと変化している昨今、20歳の若者が異性に求める条件を聞いたところ、現在の20歳では、1位が「価値観が合う」(59.7%)、2位が「やさしい」(40.8%)、3位「趣味が合う」(32.5%)という結果となり、相手に求めていることの大半が内面性であることが分かりました。一方、40歳の方が20歳のときに異性に求めた条件は、1位が「価値観が合う」(44.7%)、2位が「やさしい」(40.8%)、3位が「顔」(27.7%)、また60歳では、1位が「やさしい」(42.0%)、2位が「価値観が合う」(40.6%)、3位が「体型・スタイル」(25.1%)となり、こちらは内面以外にも外見を重視していることが分かりました。

またこの結果を性別・年代別に見てみると、特徴的なのは男性20歳で、いわゆる“草食系男子”と言われるように、女性に対して求める条件の6位に「包容力がある」(15.8%)がランクインされました。また女性40歳では4位に「面白い」(24.5%)、女性60歳では4位に「背の高さ」(17.6%)、6位に「収入」(15.7%)が選ばれました。



Tアンケート

■調査概要

調査方法	インターネット (Tアンケート)
調査期間	2013年12月20日(金)～12月26日(木)
調査地域	全国
調査対象	20歳、40歳、60歳(2013年度年齢)の男女 (T会員)
サンプル数	619名

	20歳	40歳	60歳	合計
男性	101人	104人	105人	310人
女性	105人	102人	102人	309人
合計	206人	206人	207人	619人

■Tアンケートとは

Tカードをご利用のお客様の中で800万人が登録をしている、日本最大級のネットリサーチサービスです。リサーチやアンケートへ回答いただいた会員の皆様には謝礼としてTポイントを付与させていただきます。またご回答いただいた結果は、統計情報として処理され、企業やメディアの商品開発やサービス企画などに活用されます。会員の皆様からいただいたご意見一つひとつが、人の、企業の、そして日本の素晴らしい未来を創り出す大切なキーポイントになります。

CCCでは、企業の皆さまに対し、ご要望に合わせたリサーチプログラムとして、「Tアンケート」を通じた調査の企画から、集計・分析までのマーケティング・ソリューションを提供しています。